

府中市生涯学習センターにおける
指定管理者候補者選定委員会

答 申 書

令和7年9月

府中市生涯学習センターにおける
指定管理者候補者選定委員会

1 選定結果

(1) 指定管理者候補者 ミズノ・K P Bグループ

ア 構成団体

(7) 美津濃株式会社

a 代表者名 代表取締役 水野 明人

b 所在地 大阪府大阪市中心区北浜4-1-23

(4) ミズノスポーツサービス株式会社

a 代表者名 代表取締役 薬師寺 洋彰

b 所在地 大阪府大阪市中心区北浜4-1-23

(7) 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

a 代表者名 代表取締役 橋本 鉄司

b 所在地 東京都千代田区神田小川町1-2

2 選定理由

応募事業者の提案は、構成グループの強みやこれまでの運営実績、他施設での事業経験を踏まえたノウハウの下、十分に検討されたものであり、財政面や事業能力面での安定性や、効率的・効果的な施設管理の考え方、具体的な事業計画などを総合的に評価した結果、本委員会としては、上記の者を指定管理者候補者として選定する（書類審査及びプレゼンテーション審査結果は別添資料のとおり）。

なお、指定管理者候補者を選定するに当たり、各委員の参考意見を別に付すこととする。

3 選定までの経緯

日 程	内 容
令和7年3月18日	第1回府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定委員会を開催した。 教育長から委員長へ諮問書を伝達し、施設の概要、選定方針について説明した。
令和7年4月25日	第2回府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定委員会を開催した。 募集要項、要求水準及び審査基準について審議した。
令和7年6月9日	現指定管理者へ募集要項、要求水準書等を提示した。
令和7年7月8日	現指定管理者から申請書類を受け付けた。
令和7年7月18日	第3回府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定委員会を開催した。 指定管理者候補者選定に向けた書類審査を実施した。

令和7年8月 1日	第4回府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定委員会を開催した。 プレゼンテーション審査を実施し、審議の上、指定管理者候補者を選定した。 その後、答申書の内容を審議し、決定した。
令和7年9月30日	府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定委員会答申書を教育長へ提出した。

4 選定方法

(1) 選定基準

第2回府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定委員会において審議し、府中市生涯学習センター指定管理者候補者選定基準を決定した。
(府中市生涯学習センター指定管理者候補者選定基準は別添資料のとおり)

(2) 書類審査

府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定基準第4に基づき、書類審査を実施した。

(3) プレゼンテーション審査

府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定基準第5に基づき、プレゼンテーションを実施し、審議の上、指定管理者候補者を選定した。

5 選定委員（6名）

委員長		(学識経験者)
副委員長		(学識経験者)
委員		(司法書士)
委員		(税理士)
委員		(公募市民)
委員		(公募市民)

別 添

指定管理者候補者に対する付帯意見

本委員会は、府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者を選定するに当たり、府中市生涯学習センターの指定管理者候補者に対し、次の意見を付すこととする。

これまでの実績、ノウハウを活かした取組に加え、周辺関連施設との連携や相談機能の充実という前期の府中市生涯学習審議会の答申の趣旨を理解した提案となっている点が評価できる。

今後は、多様な学習ニーズの把握と、これまで講座に参加できていない層（現役有職者、外国人、障がい者、子育て中の親等）へのアプローチに努め、市民の学習意欲に一層の熱意をもって応えてもらいたい。

収支予算においては、収入の増加より人件費の増加が大きい。これまで以上に利用人数の増加による利用料金収入の改善や向上を心掛けるとともに、施設の維持管理に必要な経費を確保する努力を求めたい。

府中市生涯学習センター指定管理者候補者選定基準

(目的)

第1 この基準は、府中市公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例(平成17年6月府中市条例第11号。以下「条例」という。)第4条の規定により、府中市生涯学習センター指定管理者候補者(以下「候補者」という。)を選定するために必要な事項を定めるものとする。

(審査方法)

第2 府中市生涯学習センターにおける指定管理者候補者選定委員会(以下「選定委員会」という。)において、各委員等は、条例第4条に基づき、第3から第5までのとおり選定を行う。

(事前審査)

第3 指定管理者応募者から提出された、資料等により、府中市生涯学習センター指定管理者募集要項の「応募資格」に定める選定委員会の対象事業者となり得るかを、事務局において調査・確認・審査する。

(書類審査)

第4 前項において資格を有する事業者を対象に、提出された資料等に基づき事業者の審査を行う。
2 前項の審査は、別表1に定める書類審査基準表により各委員が行った採点の結果を踏まえて、行うものとする。

(プレゼンテーション審査)

第5 第3において資格を有する事業者が、その提案についてのプレゼンテーションを行い、その結果において候補者を審査する。
2 前項の審査は、別表2に定めるプレゼンテーション審査基準表により各委員が行った採点の結果を踏まえて、行うものとする。

(候補者の選定)

第6 第4及び第5の審査結果に基づき、選定委員会において協議し、候補者を選定する。

(雑則)

第7 この基準に定めるもののほか必要な事項については、別に定める。

付 則

この基準は、令和7年6月9日から施行する。

(別表1) 書類審査基準表

区分	No.	審査項目
団体の 安定性	1	団体の経営状況の健全性及び管理運営を安定して行う人員及び資産の保有について（財務状況）
	2	団体として管理運営を安定して行うことができる能力及び実績について（事業能力）
サービス向上 かつ公平性	3	利用者の公平な施設利用の確保について
	4	利用者ニーズの把握、サービスの向上と満足度の向上につなげるための仕組みづくりについて
	5	多様な利用者が積極的に施設を利用できるよう I C T の活用や、ユニバーサルデザインに配慮した施設の運営について
事業計画	6	施設の設置目的や基本方針、運営方針との整合性について
	7	指定管理期間中の事業計画や目標の具体性について
	8	要求水準に求める生涯学習に係る事業計画について
	9	環境／社会 (SDGs) に配慮した管理運営について
	10	地域・団体・事業者・行政等との協働や連携のための方策について
	11	モニタリングを活用した事業改善の意欲の有無について
効率的管理	12	収支計画の妥当性について
	13	管理経費の縮減を図るための方策について
	14	施設の利用率向上のための方策について
	15	利用者とのトラブルの未然防止、対応についての方策について
	16	管理運営に必要な人員確保と人員の能力向上のための研修等の計画について
	17	施設及び備品等の適切な維持管理のための方策について
個人情報保護 管理、情報公 開及び危機管 理	18	情報公開・個人情報保護管理等への配慮について
	19	緊急時に即応した安全管理のための体制の整備について
その他	20	府中市の生涯学習に係る施策や事業への深い理解について

※ 5点…特に優れている、4点…優れている、3点…普通、2点…やや不十分な提案である、1点…不十分な提案である

① 評価項目を5～1点で採点する。

② 委員の合計点を100点満点で表し、総合評価とする（100点を満点とし、最低を20点とする。）。

(別表2) プレゼンテーション審査基準表

選定基準・評価項目等		重点項目
1 安定的かつ質の高いサービスの提供		
(1)	事業実施に当たって、公平かつ積極的な利用に向けた実現性がある提案がされていることが確認できたか。	
(2)	利用率の向上に関する積極的かつ計画的な提案であることが確認できたか。	
(3)	府中市の生涯学習推進行政について良く理解し、適切な事業提案であることは確認できたか。	○
(4)	市民や市との協働について具体的かつ積極的な提案であることが確認できたか。	
2 効率的・効果的な施設管理		
(1)	効率的・効果的な施設運営を実施するための提案を確認できたか。	○
(2)	利用者の安全確保や関係法令の遵守が図られた提案を確認できたか。	

選定基準・評価項目等		重点項目
(3)	当該施設及び類似施設での実績を踏まえ、根拠ある数値に基づく提案を確認できたか。	
3 要求水準の内容を捉えたプレゼンテーション		
(1)	プレゼンテーション全体にわたって、生涯学習センターの指定管理者として市の要望を捉えた提案や展望・熱意などが感じられたか。	

※ 10～9点…優れている、8～7点…やや優れている、6～5点…普通、4～3点…やや劣っている、2～1点…劣っている

- ① 評価項目を1～10点で採点する。
- ② 重点項目については点数に2を乗じた数を得点とする。
- ③ 委員の合計点を100点満点で表し、総合評価とする。